

## 平成 18 年度全国林業グループコンクール（概要）

### ——〔全国大会出場経緯〕——

●林業研究グループコンクール九州ブロック実績発表大会

①期 日： 平成 18 年 9 月 28 日（木）～29 日（金）

②場 所： 熊本県菊池市

③福岡県代表： 黒木町林業振興会（会長 緒方徳雄）

※福岡県林業グループ（24グループ）中、日頃の活動が評価、選出され出場。

④結 果

※九州全県 8グループ の中で最優秀賞受賞し代表となる。

\*九州ブロック代表： 黒木町林業振興会（会長 緒方徳雄）

### ——〔全国大会概要〕——

●全国グループコンクール ～地域における林業グループ活動と今後の方向～

①期 日： 平成 19 年 3 月 1 日（木）～2 日（金）

②場 所： 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都）

③主 催： （社）全国林業改良普及協会 全国林業研究グループ連絡協議会

④コンクール発表順及びグループ名

順	県 名	林業研究グループ名	発 表 内 容
1	兵庫県	<small>かみ</small> 加美林業研究クラブ	高密路網整備・携帯型 GPS の利用
2	神奈川県	<small>みたけさとやま</small> 三竹里山の竹林を考える会	荒廃竹材の再生・竹林利用
3	愛知県	<small>ゆたか</small> 豊クラブ	間伐の推進・後継者育成
4	鳥取県	<small>ちづ</small> 智頭林業研究会	低コスト林業実現への取り組み
5	福岡県	<small>くろぎまち</small> 黒木町林業振興会	ボランティアによる人材育成
6	岩手県	<small>いわいずみ</small> 岩泉町林業研究グループ	間伐材の利用促進

⑤結 果

〈農林水産大臣賞〉 智頭林業研究会（鳥取県）

〈林野庁長官賞〉 黒木町林業振興会（福岡県）  
加美林業研究クラブ（兵庫県）  
三竹里山の竹林を考える会（神奈川県）  
豊クラブ（愛知県）  
岩泉町林業研究グループ（岩手県）

⑥発表資料 別紙、資料参照

# 黒木町林業振興会

事務局 福岡県八女郡黒木町大字桑原 292-2 (八女森林組合内)

代表者 緒方 徳雄 設立 昭和 33 年

会員 59 名 年齢 26 歳～79 歳 平均 59 歳

主なプロジェクト

- ・ 優良材生産への取り組み
- ・ 磨き丸太生産
- ・ 担い手育成

～森づくりは人づくりから～

## 1. 地域の概況

黒木町は、福岡県の南部に位置し、標高 60～900mと起伏に富む農林業の町です。総面積は 13,549ha。そのうち森林面積は 69%の 9,394ha、民有林率 97.7%、人口林率 87.4%と挿穂苗による造林が盛んな八女林業の中核地域であります。また、黒木町は八女茶発祥の地として知られ、古くから茶生産に力を入れており、このほかブドウ、イチゴなど多品目の農産物生産で知られています。

## 2. 設立の経緯

昭和 33 年に、電柱生産に係わる品種改良及び選定事業、造林事業を行うことを目的に、黒木町林業研究会が発足。昭和 40 年代に入り、主に早生形品種である電柱材の需要が減少し、優良な建築材生産へと推移し、そしてその頃、旧町村単位で活動していた林研グループとの合併が進み、昭和 49 年に優良材生産を目的とする黒木町林業振興会として名称を改めスタートしました。黒木町林業振興会になってからは、間伐や枝打ちの技術講習会や視察研修を行うほか、磨き丸太部会や青年部、婦人部などの部会組織での活動も活発に行ってきました。男女や年代を超えた大所帯のグループであることも本会の特徴です。

## 3. 活動状況

### 1) 優良材生産の取り組み

発足当時から優良材生産の取り組みとして、間伐・枝打ちの研修会や技術向上に取りくんできました。八女地域の市町村で取り組む八女林業コンテストにも積極的に参加し、いつも上位入賞しています。この他、磨き丸太部会を中心に、磨き丸太の生産や出荷にも力を入れており、環境にやさしく持続可能な資源である、国産材の利用普及に力を入れています。

### 2) 特産品研究・先進地視察

黒木町は、干潟で有名な有明海の川上に位置し、古くから海苔養殖のための竹支柱の生産地でした。またこの地域にしか生育していない皮白竹（カシロダケ）の竹皮は、群馬県の伝統工芸品である下駄表の材料として、戦前から出荷されていたそうです。黒木町林業振興会の部会組織である「あすなる会」は、皮白竹の縁から、群馬の工芸作家を招き竹皮編の勉強会を行うなど、特徴的な活動をしています。このように、低迷する木材生産のほかにも、林産物を利用した特産品の研究や先進地の視察などを行うなど、生き活きとした女性の活動も盛んに行っています。

### 3) 担い手育成への取り組み

#### ① 里山ワーキングホリデー

平成9年から毎年、国際里山・田園保全ワーキングホリデーin福岡というボランティア合宿を行っています。平成17年で9回目となったこの取り組みは、日本各地と世界各国からボランティアを募り、10日間の合宿形式で里山保全活動を行うものです。山村での共同生活と里山保全作業（棚田の石垣修復、山林の管理、作業道の施工など）を通じ、都市住民、農村住民、国内外、NGOとのパートナーシップを形成し、多様な生態系、里山環境を守ることを目指しています。企画運営は、本会と九州大学芸術工学部重松研究室、山村塾（森林ボランティアグループ）などで実行委員会を設立し行っています。都会に住む人にとって農林業は未知の世界ですが、実際にやってみると、楽しい部分が多く、やりがいのある仕事であることに気づいてくれます。

#### ② プロが教える山仕事講座

平成14年度から山仕事講座を開催しています。講座は、手道具編とチェーンソー編に分かれており、安全で楽しく作業するための技術や知識を身につけてもらっています。ここでの修了生は、県内の森林ボランティア活動で作業リーダーとして活躍したり、林研会員の山仕事手伝いを行うまでの技量を身につけた人もいます。ここ2年ほどは、修了生と林研会員による共同の山林作業なども実施しており、お客さんではない、能力のある真の森林ボランティアが育ってきたように思います。そして、人に教えるには、自分たちの技術や知識を研磨する必要があり、本会会員の技術向上にも役立っています。

### 4. 活動の成果

これまで熱心に林業経営に取り組んできた地域ですが、ここ数年は、木材価格下落や後継者不足、そして平成3年、平成16年の大型台風による風倒木被害が続くなど問題も多く、林業経営が成立しづらくなってきています。林業を取り巻く環境は非常に厳しくなっていますが、本会には元気の出る源があります。それは、林業に携わるものだけではなく、大学やボランティア団体、一般市民の人たちと共に活動を行っていることです。森林ボランティアグループの多くは指導者不足に悩んでいるのですが、黒木町では、林研と森林ボランティアグループが、お互いの長所を出し合って協力することで、質の高い講座やイベントを開催することが出来ています。また、若い人や海外から来た人が、泥や汗にまみれながら楽しそうに山仕事に励む姿は、林研グループはじめとした地域の人たちに自信と誇りを産み出すなど、大変な刺激になっていると思います。

このような交流が生まれ、パートナーシップが作られてきたことが、一番の成果であり、今後の森林づくりに、心強い応援団がたくさん育ってきています。

### 5. 今後の目標

林業に携わる人について考えると、これまではプロとアマの2種類しかいませんでした。しかし、これからはプロまでではないが、ある程度技術のある森林ボランティアやIターン予備軍を支援していきたいと考えています。そういった間を取り持つ人を育てることで、林業や森林への理解が広まり、林業業界を志す若者が出てくることを期待します。そして、林業に携わる人が増えてくれば、林業業界や林研活動においても、活気のある取り組みが増えてくるに違いありません。

【ボランティアリーダー育成事業】



\* 伐採実習  
(受け口、追い口等)



\* チェーンソー取扱実習  
(採材等)



\* 採材、枝払い実習

【国際ワーキングホリデー IN福岡】



\* 伐採実習



\* チェーンソー取扱実習



\* 棚田補修

【海外視察研修】（台湾 阿里山）



\* 紅桧



\* 森林遊步道



\* 森林鐵道

【木材需要調査】



\* 木材市場視察



\* 住宅メーカー建築現場視察



\* 住宅展示場視察

【女性林研 あすなろ会 活動】



\* 林間栽培によるヒサカキ等の  
共同出荷取り組み視察



\* ヒサカキ



\* 皮白タケを利用したクラフト工作

【八女林業コンテスト】



\* 会員枝打ち林



\* 会員間伐林



\* 会員間伐林

1	(ふりがな) 名 称	くろぎまちりんぎょうしんこうかい 黒木町林業振興会		
2	所 在 地	福岡県八女郡黒木町大字桑原292-2 (八女森林組合内事務局)		
3	代 表 者 名	緒方 徳雄	4	設立年月 昭和33年4月
5	会 員 数	男 43人 女 16人	6	年齢 26歳～79歳 平均59歳
7	会員の森林 所有の状況	1.17 ha～	285.14 ha	平均 20.12 ha (黒木町) 人工林率 89 %
8	主な プロジェクト のテーマ	林業技術を研究することにより、経営の合理化を目指し、林業振興と農林家の経済向上を図る。 ・適切な森林管理 ・付加価値の高い山作り ・後継者の育成		
9	集会回数およ び出席率	集会回数	年平均	3 回 出席率 60 %
10	活動記録の 整備状況	年度毎の事業内容は、総会資料等で整備している。		
11	グループ所有 の器具器材 基本財産	振興会での保有は無し。		
12	過去5年間の 主な活動	H13	優良材生産現地研修、八女林研大会参加、育林コンテスト出展 県林研事業参加、農林水産賞受賞(林業部門 名誉賞) 毎年ボランティア事業の取り組み(指導者として参加)	
		H14	後継者視察研修参加、八女林研大会参加、育林コンテスト出展 海外視察研修(台湾 阿里山森林、森林鉄道、竹山など)	
		H15	黒木町林業振興会(青年部)女性林研(あすなろ会)との統合 後継者視察研修参加、八女林研大会参加、育林コンテスト出展 視察研修、女性林研活動(交流会、視察)	
		H16	後継者視察研修参加、八女林研大会参加、育林コンテスト出展 女性林研活動(特用林産物料理、交流会、視察)	
		H17	後継者視察研修参加、八女林研大会参加、育林コンテスト出展 女性林研活動(草木染め、交流会、視察)	
		近年、国際ワーク森林ボランティア等で、ボランティア団体と協力し活動を進めている これにより、都市部、森林所有者等、互いに森林に対する相乗効果が出来ている。		